

2024 年度事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 エヌ・ピー・オー福祉用具ネット

1. 事業の成果

令和 6 年度の事業は、受託して 5 年目となる福岡県ノーリフティングケア普及促進事業の取組が大部分でした。この事業も年々取組施設数が増えていく中で、取組 1 年目から 5 年目までのすべての施設に取組の教育や継続支援をすることが求められました。

介護現場の人手不足も、益々深刻化する中で、感染症問題も相変わらず続いています。さまざまな状況下の中、取組を投げ出さずに一步ずつ進め、ケアの定着が図れるように先行して取り組んでいるモデル施設の皆様と一緒に取り組みを継続させることを目指しました。

しかし、その抱え上げ介護を減らすためには、福祉用具の活用は不可欠ですが、調査の結果、取組施設が福祉用具環境を整えるには数年かかっていることも明らかになりました。福祉用具環境を整え、その活用がしっかりとできれば、抱え上げ介護は減少し、介護職の腰痛者が少なくなるという結果も見えてきました。また、本事業の調査では、その福祉用具環境が整い、腰痛対策として効果がでるには 5 年くらいは要するという結果が明らかになりました。

ノーリフティングケア普及促進事業のさまざまな取り組みの中で、良い効果をもたらしているのは指導者の育成や 4 つの地域連絡協議会の活動です。マネジメント研修の講師育成の結果、今年度は 3 名のマネジメント講師が誕生。さらに講師見習 4 名を育成しました。来年度は、その講師見習として学んだ 4 名がステップアップを目指し、さらに、次の新たな講師見習いを育成します。また、技術指導者の育成に向けても段階的に進めています。まずは技術指導が出来る人材が各モデル施設に 1 名は存在することを目指しています。現在、その対象となるモデル施設 34 施設中、14 施設には技術認定試験合格者がいますので、今後、さらに増やす計画で進めていきます。(現在までに 1 期生から 5 期生までが本事業に参加していますが、モデル施設は 1 期生から 3 期生までを対象としています。)

そして、地域連絡協議会の活動は県内 4 地域でリーダーを中心とした主体的な活動で取り組みをサポートしており、地域ごとの連帯感により交流ができているのも良い効果をもたらしていると感じています。

今年度の事業の詳細や実践報告については、県のホームページに公開されています。

また、本 NPO のもう一つの主たる事業である『ものづくり支援』も、これまでと変わらず開発支援は継続して実施してきました。

県内企業様には、福岡県登録コーディネーターとして開発支援を継続実施しており、さらに会員企業様の支援や企業顧問としても活動を継続しています。

2. 各事業別の取り組みの概要

(1)福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業

① ものづくり支援センター部門の成果

本 NPO は、「福岡県登録コーディネーター」「福岡県開発相談コンシェルジュ」として、県と連携しながら、医療・福祉機器市場に参入を目指す県内企業に対して伴走型開発支援を続けています。また、県外の会員企業に対する開発支援も行っています。今年度は 53 件の開発相談とともに知的財産調査・権利取得支援にも対応いたしました。

さらに、現在 2 社（東京 1 社、大阪 1 社）と顧問契約を交わし毎月アドバイスをを行っています。

福祉機器のニーズ発掘・提案も重要な活動です。ものづくり支援事業では、ノーリフティングケア普及促進事業と連携し、ノーリフティングケア技術にふさわしい福祉機器の有り様を求めて現行機器の改良点や新規福祉機器の探索を進めています。この結果（ニーズ）は、「筑豊地域医療・福祉関連支援委員会」を通じて公表され、県内企業に提案されています。

②福祉用具活用に関する相談は、随時対応しています。特に、ノーリフティングケアに伴う事例に対する福祉用具選定や住環境の中での福祉用具の使い方や選び方に関する相談が増えています。随時、施設とのやり取りは、ノーリフティングケア普及促進事業の中で全施設とのやり取りが容易に出来る「スラック」がとても有効な連絡手段となっています。

また、個別の事例相談にも対応。

(2)生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業

① 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

合計 63 回のマネジメント研修や技術研修や地域連絡協議会の活動を企画し開催いたしました。

i) 今年度の新規採択施設(5 期生)10 施設の育成。さらに、2 年目の 4 期生 14 施設を中心にマネジメント研修や技術研修を行いました。

ii) 地域連絡協議会は 1 期生から 3 期生が中心となり、各地域にリーダー施設を決めて主体的な活動計画を立て、取り組みました。さらに、先輩施設として新規の取り組み施設をサポートすることは勿論ですが、今年度もこの地域連絡協議会が老施協の協力を得て、福岡と筑豊地域で第 2 回ノーリフティングケアフォーラムを企画し、ノーリフティングケアを広めることにも挑戦して下さいました。

また、12 月は各地域ごとに実践報告会を開催いたしました。特に筑後地域は九州大谷短期大学や筑後地区老施協と協力して体験や実践報告会を実施しました。その地域の実践報告の開催は、取組のモチベーションを維持するために必要不可欠だと考えて

います。今年度は、その報告の中より地域の代表として3施設ずつが選ばれて、合計12施設が実践報告を県のホームページにて実施してくれました。

iii) 市町村からのノーリフティングケア取り組みのサポートも実施。柳川・みやま地区介護サービス事業者連絡会やみやま市のノーリフティングケアの広報への協力も実施しています。

② ビューティタッチセラピスト育成事業

日本介護美容セラピスト協会主催のビューティタッチセラピスト育成に係る介護の基礎研修は、今年度も合計82回開催され466名が認定されました。その内、介護基礎講座の受講者は192名でした。

累計3,027人の認定セラピストが誕生し、全国で活躍しています。

(3)安全な生活に向けたバリアフリー化に関する相談・調査・啓発・研修などの福祉のまちづくに関する事業

特に活動なし

(4)情報誌及び出版物の発行など会員や市民との文化交流事業

情報誌【ささえ】の発行4回も、今年度も計画通りに実施いたしました。

また、福岡県ノーリフティングケア普及促進事業の活動は随時、SNSや情報誌等に紹介しました。発信件数115件にも及びました。

詳細は以下の通りです。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
1)福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業	■開発に関する相談 県内・県外企業（ものづくり支援センター事業）	随時 53件	県内企業 又は事務局(Web会議含む)	常勤1名 他3名	企業開発者 若干名	1,490,783
	■開発協力品の販路拡大支援	3社	全国	常勤1名 他3名	開発者など企業関係者若干名 及び介護現場の専門職やユーザー多数	

(2) 生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業	■実践事例から学ぶ浴室環境の改善策入浴介について検討	7月26日 14時～ 15時15分	オンライン研修	30施設申込 50名受講	施設職員など多数	11,525,059
	■Googleフォームについて	8月3日 13時半～16時	オンライン研修	14施設から 17名	参加施設	
	■福岡県委託事業 ノーリフティンケア普及促進のための研修事業受託	4月～ 3月末 63回の研修等を開催	福岡県内 オンラインと対面の方法で実施	常勤1名 含む10名	58の施設 要介護者多数	
	■ビューティタッチセラピスト育成事業の支援 日本介護美容セラピスト協会との連携事業 介護基礎講座の開催	随時 16回	全国 8か所	常勤1名 他10名	受講者192名 高齢者多数 医療介護福祉従事者多数	
(3) 安全な生活に向けたバリアフリー化に関する相談・調査・啓発・研修などの福祉のまちづくりに関する事業	■バリアフリーに関する	事例支援	全国	常勤1名	介護・医療・福祉専門職など	0
(4) 情報誌および出版物の発行	■情報誌【ささえ】の定期的な発行	年に4回 87号 88号	事務局	常勤1名 含む2名	介護・医療・福祉専門職や不特定多数	370,763

ど会員や市 民との文 化交流事業	■ホームページ やF B等による 情報発信	89 号 90 号 計画通り に発行 ・随時報告 115 回			毎回 300 部～ 400 部印刷	
------------------------	-----------------------------	---	--	--	----------------------	--

(2) 収益事業 該当なし